

世界標準の  
データベース

## NMDB(日本対応版)とは

セルフメディケーションが進む時流から健康食品・サプリメント市場は拡大し、今や5万点ともいわれる市販商品が流通している。健康食品・サプリメントは、健康の保持・増進などを期待して摂取されるものだが、実のところ有効性や安全性が保障されているものは数少なく、また誤った摂取方法や副作用によると思われる健康被害の事例報告も医療現場から上がっている。

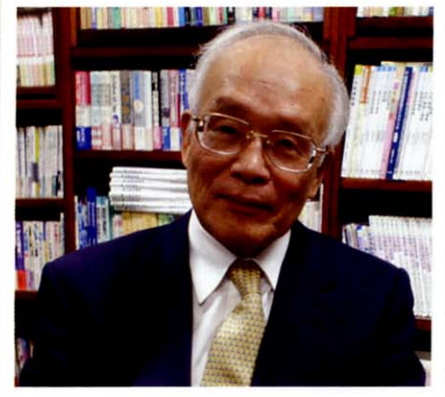
薬剤師の立場から、患者個々人の状況に添った的確なアドバイスを行うための参考資料ともなる、健康食品・サプリメントの有効性や安全性、医薬品との相互作用、使用量の目安に関する世界標準の情報源をまとめた『健康食品・サプリメント〔成分〕のすべて—ナチュラルメディシン・データベース—』を監訳された田中先生に、その趣旨・内容・薬局における活用方法などをお聞きした。

日本薬剤師会も総監修している  
データベースの日本対応版

健康食品の先進国であるアメリカでは、健康食品に関するあらゆる疑問に答えるシステムとしてのサプリメント・データベースが整っている。そのなかで最も信頼性のある情報源として、アメリカ国内のFDA（医薬食品局）やNIH（国立衛生研究所）などといった機関のみならず、欧米諸国の国家行政機関なども正式採用してい

るのが、世界最大級の健康食品データベース『NMDB（ナチュラルメディシン・データベース）』だ。これは、web版と書籍版で成り立っているものであるが、これらの中から重要事項を精選してまとめた普及版を翻訳した日本対応版が、『健康食品・サプリメント〔成分〕のすべて—ナチュラルメディシン・データベース—』である。

同書は、現在、内外市場で購入できる健康食品・サプリメントの原材料（素材）あるいは成分1,095種の有効性や安全性、医薬品との相互作用、使用量の目安等を網羅している。今年10月に刊行された新版では、特に安全性の内容について詳細に記述し、「症状・病態の有効性」「特定保健用食品」「食薬区分」「日本人の食事摂取基準」など、



■監訳者：田中平三先生

(社)日本健康食品・サプリメント情報センター  
(JAHFIC) 代表理事  
神奈川工科大学教授

日本の状況に即した内容を強化。日本薬剤師会とともに日本医師会、日本歯科医師会も総監修を務めており、国民生活センターや各都道府県の薬事法等の監視指導機関など、消費者行政においても有効性、安全性の判断基準の一環として利用されている。

日本における健康食品の安全性を  
認証する JAHFIC が編集

日本対応版の編集を中立的に行っているのが、一般社団法人日本健康食品・サプリメント情報センター



2011年10月に発行された『健康食品・サプリメント〔成分〕のすべて—ナチュラルメディシン・データベース—』(ISBN978-4-8103-3163-9)

イチョウに関する成分データ	
<b>イチョウ</b>	
<b>目録</b>	
●GAKKO	
●別名漢字	銀杏、ギンコ、ビロウバ( Gingko biloba)、ギンキョウ(Japanese Silver Apricot)、Adiantella、Bat Guai Ye、Baiguo、Fossil Tree、Ginkgo-Extract、Ginkgo-Folium、Ginkgo-Leaf-Extract、Ginkgo-Seed、Herba Ginkgo Biloba、Kew Tree、Maidenhair Tree、Salisburi Adiantella、Yobuko
●学名(ラテン)	
●ハーブです。葉は通常「くすり」を作るのに使われます。種子も「くすり」に使うことがありますが詳しい情報はありません。	
●有効性レベル	
●アレルギー	



